

家庭で使う電池の用途と個数

われわれの身の回りには電池で作動する機器が多いのですが、何個ぐらい使われているのでしょうか。私はこれまで数えたことがなかったので、自宅のキッチンから寝室まで全部の部屋を歩き回り、使用機器と電池の個数を確認しました。その結果が右の表で、夫婦二人の生活で50個とわかりましたが、まだ5個以上の見落としがありそうです。思ったより多かったのはリモコンで、10個以上ありました。以前は照明器具や扇風機にはリモコンがなかったのに、いつの間にかついているのが当たり前になっています。健康器具の電池も多いですが、健康器具そのものが広く普及したからでしょうか。以上は使い切りの一次電池ですが、種類とサイズが多いので、テレビ台の引き出しの一つが予備電池専用の置き場所になっています。種類は単1から単4の乾電池の他に、ボタン電池や空気電池もあります。電池の残存能力を確認できる小さなメーターも引き出しに入れています。

二次電池はリチウムイオン電池が多いのですが、電話機はニッケル水素電池、電動シェーバーはニッケル・カドミウム電池でした。皆さんも使っている電池の種類と個数を確認したらいかがですか。これほど多くの電池に囲まれ、意識せずに利便性の恩恵を得ていることに気がつかれるでしょう。ちなみに日本の電池の生産量は年に約40億個で、金額は約7800億円です。

種類	使用機器	個数
一次電池 使い切り	懐中電灯 (2台)	4
	掛け時計	2
	置き時計	2
	腕時計	3
	ガスレンジ (着火)	2
	テレビリモコン	3
	エアコンリモコン	3
	照明リモコン	3
	扇風機リモコン	3
	パソコンマウス	2
	CDプレイヤー	1
	体重計	1
	血圧計	4
	補聴器	2
万歩計	2	
二次電池 充電式	携帯電話	2
	電話機 (子機)	2
	電動シェーバー	2
	デジカメ	2
	DVDプレイヤー	1
太陽電池	電卓	4

(合計) 50個